

プレスリリース

2025年大阪・関西万博

フランスはそのパビリオンを発表します
愛への賛歌、大胆さとコミットメントへの招待



フランス館の外観©DR

パビリオンと重要なプロジェクトの発表

2025年大阪万博のフランス館は、共和国大統領の後援のもと、1月9日にオルセー河岸のサロンで除幕式が行われました。博覧会は2025年4月13日から10月13日まで、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催されます。

貿易、誘致、在外フランス人担当大臣のオリヴィエ・ベシュト氏と、ジャック・メール氏、2025年大阪・関西万博フランス館総監督であり、フランス博覧会公社（COFREX）社長がこのプレゼンテーションを紹介し、その中でパビリオンの建築、その「赤い糸」のテーマとプログラムの方向性が、250 人を超えるフランスと日本の両国の列席者に披露されました。

フランスのイノベーションを紹介する、この世界的なイベントにおけるフランスの旗艦であるフランス館は、すべての観客がアクセスできる没入型の体験を提供します。中心テーマである「愛への賛歌」を通じて、人生の意味とその最も美しい次元である愛、つまり自己愛、他者への愛、地球への愛についての強いメッセージとともに、新しい未来のビジョン、さらにはフランスと日本のラブストーリーを表現します。

オリヴィエ・ベシュトのこぼれ。「フランスブランドのもつ色彩の下、フランス館は、あらゆる大陸からお集まりいただいた人びとに、私たちのサヴォワフェールがカバーしている範囲の広さをご覧にいます。それは、エネルギーとデジタルへの移行を加速し、私たちの受け継ぐ伝統の価値を高め、常によりインクルーシブな社会の結束を確保することを目的とした、私たちの政治的、経済的、文化的、社会的行動の一貫性を強調することになるでしょう。端的に言えば、この国を特徴づける創意工夫と大胆さの精神を輝かせ、すべての来場者のフランスへの憧れを呼び覚ますことになるでしょう。」

フランス館：愛の讃歌

現代の大きな課題に直面しているフランスは、その価値観と感性を持って、楽観的かつ献身的に対応します。2,800万人を超える来場者に、没入型のフランス館ならびに「愛の讃歌」を体現するコンセプトの建物という、唯一無二の体験をご提供します。

Coldefy & Associés Architectes Urbanistes エージェンシーとCRA-Carlo Ratti Associati事務所が共同設計したフランスパビリオンは、その建築、展示スペース、プログラムにおいてこの「愛の讃歌」を表現します。ブーランジェリー・パティスリーからビストロ、特別展示からブティックまで、ユニークな来場者体験、豊かでポジティブな感情を五感に訴える旅を提供します。

パビリオンのファサードは、洗練されたモダンなスタイルで、神秘的な要素を保ちながらも、聴衆を前にしたオープンシアターの舞台を彷彿とさせます。ファサードの両側面は、劇場のように、完全にベールで覆われていて、待ち合わせエリアとしての通路を経てさまざまなスペースにアクセスができます。広大な庭園である屋上は、直前に公開されるフランス館の常設展示の中心的な要素です。

高潔で持続可能な精神に基づいて造られたフランス館は、再利用に最適化するために完全に仮設の建物として設計されています。金属製の構造はパーツとユニットとして再び組み立てることができるもので、再利用することができます。ダブルスキンとして設計された外側のエンベロップ、ベール、庭園は、熱伝達を低減することで建物の熱性能を向上させることにより、パビリオンの内部を保護する役割を果たします。自然換気を組み合わせることで、外壁は暖房と冷房のためのエネルギー消費量を削減します。

来場者のたどる道には、フランスとフランス企業が参加した表現を通じたビジョンと知覚という、あふれる感動が約束されます。この体験は、パビリオンの日よけの下で列に並ぶところから始まり、緩やかな傾斜のスロープを登りながら、それぞれが徐々に高まっていくことができるものです。フレンチシックな広大なエントランスホールを通り抜け、パートナーとの最初の出会いが提供されてから、記念碑的な「オービュッソンのタペストリー」の展示が次のように続きます。「自分にある悪魔の傷を癒すアシタカ」、宮崎駿の映画『もののけ姫』の映像からインスパイアされたものです。常設展示は、自己愛、他者への愛、自然への愛という3つの運動の間の無限の対話を開く愛の散歩道としてデザインされます。

展示会の6か月間、フランスパビリオンのプログラムは、赤い糸「愛の讃歌」に基づいて、6つの企画展示が、生きているサヴォワフェール、芸術作品、また専用の展示室で行われる没入型の体験を「ライブ」で紹介します。そして国連の持続可能な開発目標（SDGs）を中心に考案される12のテーマ別企画が2週間ずつあり、カンファレンス、「交渉」、重要な証人、プロジェクション、ショーなどでパビリオンを活気づけます。

最後に、より幅広い聴衆、特に遠方にいる人びとや若者に開放することを目的として、パビリオンはバーチャル形式でリモートからアクセスできるようになります。没入型のエクスペリエンスとして再現されて、自宅または専用スペース内からアクセスできるようになります。



フランスのパビリオンは、アウトリーチ、開発、魅力を高めるためのツールです

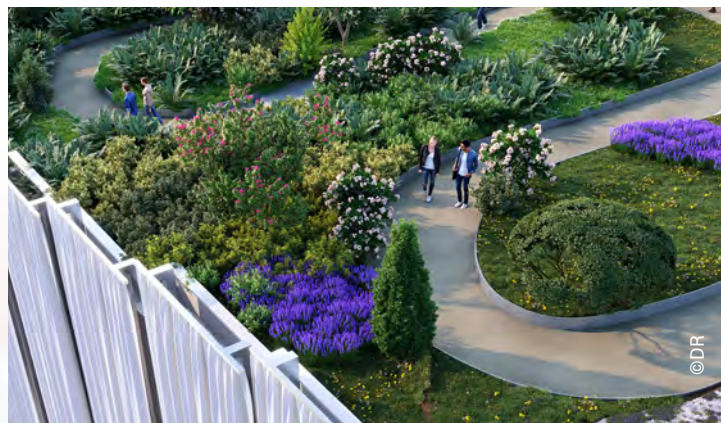
2025大阪万博のフランス館のプログラムは、エネルギー主権を持ち、新世代のカーボンフリー再工業化を実現し、高齢化などの現代の科学のおよび社会的課題に対処する方法を知っている国、フランスが取り組んだ経済力学の価値を高めることを目的としています。それは同時に、アール・ドゥ・ヴィーヴル、文化のおよび創造的な産業における世界的リーダーとしてフランスが認められることも含みます。

「フランス館は、個人および団体の取り組みを奨励することで、現代の環境のおよび社会的課題に対応したいと考えています。それは、集合的かつ普遍的な想像力を通じて、人生の意味とその最も美しい次元である愛に導かれた、新しい未来のビジョンを提案します。芸術、科学、テクノロジーは、この未来についての愛のビジョンに貢献するために役に立つリソースです。フランス館が世界中からの来場者に提供することを目指しているのは、この意味の探求なのです」と、2025年大阪・関西万博フランス館総監督であり、フランス博覧会公社（COFREX）社長のジャック・メール氏は明言します。

フランス館に参加する企業にとって、2025大阪万博は、その専門知識とイノベーションの素晴らしいショーケースとなるでしょう。フランスのサヴォワフェールの歴史的卓越性は、高級品、航空と宇宙、エネルギー、環境、文化、科学など、多くの分野で国際的に認められています。高く評価された貴重な人材が、長年にわたり、テクノロジーの進展に適応して、常により新しくなったソリューションを提供する能力があることを証明しています。

米国、中国に次ぐ世界第3位の経済大国である日本は、世界最大の輸入国の1つでもあり、北アジア市場への企業の玄関口となっています。日本市場はまた、Eコマースにおいても世界第3位を占めています。数多くの専門知識と高度な技術、そして独特な文化で注目に値する日本は、多くの国際企業を惹きつけており、新しい製品やサービスを世界的に発売するためのテスト市場として選ばれることがよくあります。フランスのサヴォワフェールはその点において、化粧品、高級品、美食、ファッションの分野における優れたブランドイメージから恩恵を受けています。

大阪のフランス館は、高い期待値をもち、しばしば西欧世界とはかけ離れた基準をもつ、日本人という人びとにアピールしようと意図しています。フランス館は再産業化に向けた「フランス2030年計画」を具体化し、「新資本主義」と2050年までのカーボンニュートラルプロジェクトを通じて経済的課題への答えを模索している日本との間で、パートナーシップを生み出すことができるでしょう。



2025大阪万博：世界的なイベント

万国博覧会は、創設以来、それぞれの時代において、地球規模の主要な課題に対する進歩的な解決策を見出すことに貢献してきました。世界的なイベントとして、あらゆる生きた力を結集させ、オリンピックやサッカーワールドカップと同様に、国際イベントの最前線にあると認知されています。誰もがアクセスできる万博は、参加国、企業、多国籍組織、教育研究機関、さらにはNGOによる最新のイノベーションの価値を高めて、可能性を探ることができるのです。

2025大阪万博の目標は、官民の関係者による専門知識とイノベーションの国際的な研究所となり、国連の持続可能な開発目標を中心に明日の社会を構築し、それを最も多くの人々と共有することです。このイベントには160か国以上が参加し、2,800万人の来場者が見込まれます。

大阪湾の夢洲に位置するこの展示会の面積は155ヘクタール以上になります。その全体的な建築は日本人建築家の藤本壮介氏に委託されました。すべてのパビリオンは、次の3つのマクロゾーンが展開する敷地にある周囲 2km の「ループリング」によって接続されています。グリーンワールド、パビリオンワールド、ウォーターワールド。国別パビリオン専用エリア（世界パビリオン）は、次のように3つのテーマ別サブグループに分けられます。「いのちを救う」、「いのちに力を与える」(Empowering Lives)そして「いのちをつなぐ」(Connecting Lives)です。「いのちに力を与える」ゾーンに位置するフランス館は、個人、社会、生者という広い意味での「私たちのいのち」を理解し、環境における人間の位置づけを問います。

博覧会のメインエントランスに面した戦略的な場所に位置するフランス館は、大阪万博2025に通じる地下鉄駅の出口から見通しが優れているという恩恵を受けます。また、日本館の真向かいにあるため、その魅力がさらに高まり、来場者数の増加は確実です。

詳細: www.franceosaka2025.fr



COFREXについて

2018年1月設立の公営企業COFREX SASは、万国博覧会や国際博覧会へのフランスの出展の事前準備、組織、実施を専門とする初の常設機関です。これまでの展示会の経験に基づき、コストと負担を最小限に抑えつつ最高のパフォーマンスを発揮する、サステナブルなアプローチを実現します。官と民のパートナーシップで構成されています。フランスのイメージと魅力を打ち出します。

詳細: www.cofrex.fr

報道関係者向け連絡先

COFREX

ナタリー・メルシエ: nathalie.mercier@cofrex.fr

メリッサ・レイモン: melissa.reymond@cofrex.fr

キャロリン・ル・ゴット: cofrex@hkstrategies.com

フランス館のパートナー

ゴールドパートナー



ブロンズパートナー



テーマ別パートナー



提携パートナー



機関投資家パートナー



メディアパートナー




ブティック代理店



パビリオンのビストロとブーランジェリー・パティスリー代理店



後援

 COFREX は、2025年大阪万博フランスパビリオンの4色のコレクターズエディションを提供してくれたBicに御礼申し上げます